

ジェットスター・ジャパン、ピンクリボン運動月間にあわせて 啓発活動を実施

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役会長:片岡優)は、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の推進などを目的に世界規模で実施する啓発キャンペーン「ピンクリボン運動」に賛同し、10月1日(土)から10月31日(月)まで、同キャンペーンの機内での紹介やジェットスター オリジナル ピンクリボンピンバッジを着用して乳がん啓発活動を実施いたします。

昨今、世界的に啓発活動の活発化もあいまって乳がんへの関心は徐々に高まる一方、日本では11人に1人*の割合で女性が乳がん罹患すると言われていています。欧米に比べて日本での検診受診率は依然低い傾向にあり、早期に発見・治療すれば治癒率が高いといわれるなかも乳がんによる死亡率は増加傾向をみせています。

*国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(2012年データに基づく)

社員の半数近くが女性のジェットスター・ジャパンには、育児と業務を両立させながらホスピタリティあふれるサービスを提供している女性社員が多く勤務しています。健康で元気に働ける職場を目指している航空会社として、ピンクリボン運動が掲げる「乳がんで悲しむ方を一人でも無くしたい」という理念に賛同し、早期発見に加え検診率の向上に貢献できるよう、日本乳がんピンクリボン運動(認定NPO法人 J.POSH)を応援します。

■ジェットスター ピンクリボン啓発活動概要

- 客室乗務員が機内でピンクリボン運動を告知
- 機内ブローシャーでのピンクリボン運動の詳細を案内
- ジェットスター オリジナル ピンクリボンピンバッジ(500円税別)の販売(売上げの一部を認定NPO法人 J.POSHに寄付)



ジェットスター・ジャパン機内にて
販売予定のオリジナルピンバッジ



シートポケットに搭載する
機内ブローシャー

■関西国際空港における啓発活動について

内容： 2016年10月1日(土)午後1時より、関西国際空港 第1ターミナルビル2階 国内線出発エリア KIX GALLERYにおいて関西国際空港ベースのジェットスター・ジャパン客室乗務員が認定NPO法人J.POSH制作の「マンマチェックリーフレット」などをお配りします。

【ジェットスター・ジャパンについて】

「より多くのお客様に、低価格で安心・安全な楽しい空の旅をしていただきたい」という経営理念のもと、2012年7月より東京(成田)、大阪(関西)、札幌(新千歳)、福岡、沖縄(那覇)に就航し日本国内線の運航を開始しました。その後、名古屋(中部)、大分、鹿児島、松山、高松、熊本へと国内の就航地を広げたのち、2015年2月の香港線の開設を皮切りに同年11月の台北線、2016年3月のマニラ線へと国際路線網を拡充しています。現在、エアバスA320型機を20機保有し、日本国内最大のLCC*として国内外14都市、24路線で1日約100便を運航しています。

<http://www.jetstar.com>* 国内線路線数(2016年9月現在)

【J. POSHについて】

乳がんの正しい知識やマンモグラフィー検診普及などの啓発活動を目的として、2002年に設立された認定NPO法人。啓発活動のほか、医療従事者の育成支援、ピンクリボン運動団体や個人運動家への支援など、さまざま活動を行っています。 <http://www.j-posh.com/>